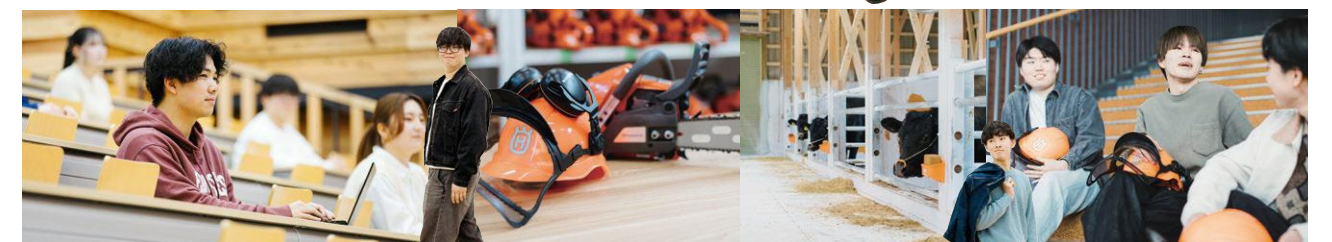
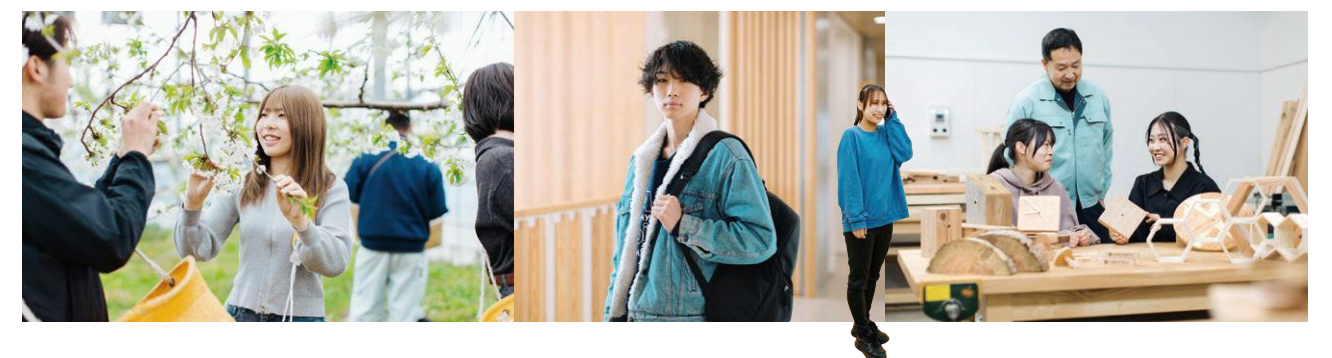




東北農林専門職大学

Tohoku Professional University of Agriculture and Forestry

GLOCAL RENOVATOR



CAMPUS GUIDE 2026

OPEN CAMPUS



オープンキャンパス
詳細や大学の情報は、
本学ホームページから
ご確認ください。



- 大学説明 大学の教育内容や施設などの教育・研究環境をご紹介します。
- 個別相談ブース 教育内容や学費、想定される進路など、皆さんの疑問点にお答えします。
- 実習体験 稲作、果樹、野菜・花き、畜産、森林業の5つのコースに分かれ、実習を体験できます。
- 模擬講義 農業経営学科、森林業経営学科のミニ模擬講義を体験できます。

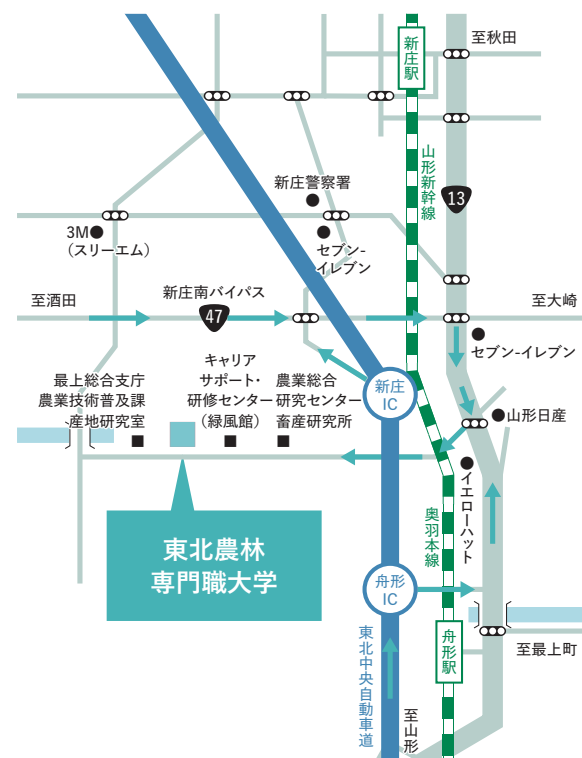
ACCESS

電車で来学の方

JR奥羽本線新庄駅下車
新庄駅よりタクシー利用約15分
または
山交バス（県立病院～鳥越線）
「専門職大学前」下車

自動車で来学の方

東北中央自動車道
新庄ICまたは舟形ICを降りて
国道13号線へ。
山形日産自動車（株）鳥越店様を
西に約1.4km



東北農林専門職大学
Tohoku Professional University of Agriculture and Forestry

〒996-0052 山形県新庄市大字角沢1366

TEL 0233-25-8302 教務学生課

<https://tpuaf.ac.jp/university/>

GLOCAL RENOVATOR

— 農 林 業 に 新 風 を —

変革から、発展へ。農林業新時代。

Management for Agriculture and Forestry

これからの農林業を変革する人材を、新しい専門職大学が育てていきます。

社会・世界が大きく変化する中、日本の基盤産業である農業・森林業が今、変化と希望の時を迎えています。

農林業を持続可能な産業として発展させ続けるために、農林業分野の4年制公立専門職大学という新しい学びのステージが誕生しました。

東北農林専門職大学ではスマート農林業など最新の生産技術と、

国際市場にも通用する経営理論、そして農業・森林業の知識、幅広い教養を身につけることができます。

世界（GLOBAL）の視点と、地域（LOCAL）の細やかさを備え、農林業の枠組みを変革できるGLOCAL RENOVATORとして

これからの時代の中核となり活躍してくれる人材がここから巣立っていきます。



INDEX

変革から、発展へ。農林業新時代。	P1
東北農林専門職大学がいま注目されるワケ POINT 5	P3
農業経営学科生が描く将来像。農dream	P5
農業経営学科で学ぶ	P7
農業経営学科のカリキュラムマップ	P12
森林業経営学科生が描く将来像。林dream	P13
森林業経営学科で学ぶ	P15
森林業経営学科のカリキュラムマップ	P20
学生たちの学校生活 LIFE STYLE	P21
キャンパス・施設紹介	P23
入試情報、学費・奨学金、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、就職支援情報	P25

変革のときこそ好機あり。
高度な知識と、実践的な技で
新しいビジネスを創造しよう。



生成AI等の情報通信革命、環境共生型社会の構築など社会が大きく変貌する中で、農業・森林業もこれまで予想もできないかたちで発展・変化していくものと考えられます。こうした中、ビジネスとしての農業・森林業をきちんと「儲かるもの」にし、併せて地域をけん引していく人材の育成が急務となっています。

東北農林専門職大学は、職業専門人材を育成する高等教育機関として、優れた技術、経営力、国際競争力を有する農業・森林業のリーダーの育成を目指しています。主な特色として、「臨地実務実習を始めとする豊富な実習」、「研究者教員と実務家教員による理論と実践を学ぶハイブリッドな教育」、「将来ビジネスを行う際の発展の種になる展開科目を通じた応用力の養成」が挙げられます。

変革の時代にあっても、農業は国民生活に必要不可欠な「食」を担い、森林業には国土の基盤を保全するという重責があります。本学において、社会で農業・森林業の実践者としてリーダーシップを発揮する、そして、グローバルに物事を捉え、地域の視点で行動していくことで新しい価値を創造し、さまざまなビジネスを築き上げていく力を身につけていきましょう。私たちと一緒に山形、東北、そして日本の農業・森林業の未来を切り拓いていきませんか。

東北農林専門職大学 学長 神山 修 Osamu Kamiyama	昭和60年4月農林水産省入省 在ドイツ日本大使館一等書記官、茨城県農林水産部長、東北大学大学院法学研究科教授、文部科学省大臣官房審議官、近畿農政局長、農林水産政策研究所長など、海外、地方公共団体、大学、他省庁を含む農林水産行政にとどまらない多彩な行政分野を経験
--	---

東北農林専門職大学が

いま注目されるワケ POINT 5

1 大学より、 専門職大学という選択

時代が求めた4年制大学の新しい制度。
これからの社会での活躍が期待されています。

「専門職大学」は、特定の職業のプロフェッショナルになるために必要な知識・理論、そして実践的なスキルの両方を身につけることができる大学として、2017年の学校教育法の改正によって新たに制定されました。4年制の大学として、卒業すれば「学士（専門職）」の学位が得られます。専門知識、実習・実技の修得に加え、産業界や地域社会との連携による実務実習、インターンシップが充実しています。卒業後は、修得した知識・理論や実践的なスキルを活かしつつ、社会や経済の動向を捉えた変革の担い手として活躍することが大いに期待されています。

2 未来を担う 農林業の新しいかたち

「技術革新」と「時代の変化」が
新しい農業経営の追い風です。

農業分野にも急速にデジタル技術が浸透してきました。「スマート農業」といわれるさまざまな技術の導入により、温度管理や水管理の省力化や、農産物の高品質化が期待されています。また、米や野菜の価格高騰で、国内の食料自給に対する意識がかつてないほど高まっています。本学で理論に裏打ちされた技術と、これからの農業経営のビジョンを学んだ人材が次代の農業を担っていくことでしょう。

新たな知識と技術によって、
新しい「森林業サービス」が生まれる。

日本唯一の「森林業経営」学科で、これからの森林業を支える優秀な人材を育てます。林業の現場では森林情報のデジタル化、林業作業の機械化や自動化などのスマート化が進んでいます。それによって、より安全で少人数での作業が可能になってきました。同時に森林は、レクリエーションや癒しの場として、教育や学習の場として注目されてきています。東北は豊かで多様性のある森林に恵まれています。東北の森のさまざまな恵みを新しい森林業サービスに結びつける専門的な人材がさらに求められていくことでしょう。



4 新しいキャンパスを舞台にハイブリッドな教員陣&少人数教育

実務家教員と研究者教員が連携した教育で
「理論と実践」をつなげます。

実際の農林業現場での経験豊富な実務能力のある教員と、研究実績が豊富で理論に長けた研究能力のある教員が、各専攻分野にそれぞれ1名以上在籍し、ハイブリッドな教育研究体制となっています。

新しい校舎、学内の園場・演習林など
充実した学びの環境です。

新しい校舎は、講義室や実験室など学びの拠点となる「教育・研究棟」と、大講義室や図書館など学生と全国の研究者や地域のみなさんとの交流の拠点となる「交流棟」で構成されています。また、広大な敷地内には、園場やハウス、畜舎、演習林に加えて、スマート農業研究・研修センターなどの附属施設が新しく整備されており、理論と実践を学ぶ充実した環境が整えられています。

少人数教育で学生に寄り添った
きめ細やかな学びができます。

社会が大きく変化する中、新しい農林業経営のかたちはさまざまです。幅広い知識、技術の修得と、時代の変化に対応した新しい経営戦略の創造のため、少人数体制できめ細やかな教育ができる環境が整えられています。



5 実習先は350 ヶ所以上

山形県の地域社会、
産業界が応援しています

山形県内を中心に、東北全体に
特色ある実習先を確保しています。

専門職大学の一番の魅力は実習の充実ぶりです。大規模な稲作経営体や6次産業化[※]を実践する法人、スマート林業を行う森林事業体など、山形県、東北をリードする多種多様な実習先を350ヶ所以上用意しています。「臨地実務実習」は2年次から4年次まで毎年30日間、合計90日間、原則同じ実習先で行われ、技術の修得だけでなく、経営戦略や経営理念といった深掘りした学習が可能です。

※6次産業化とは、農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするもの。

農林業界や行政、地域のみなさんが、
新大学の挑戦を応援しています。

山形県内の農林業界、県、市町村、地域のみなさんが一緒に
なつて大学の教育・研究や学生の卒業後の進路を応援する体
制となっています。
また「まつり」や「まちおこし」など地域の活動への参加も
歓迎されています。さらに地域ブランドや商品開発などで地
域の企業等と連携することも想定しています。



3 農業・森林業だけじゃない
学べることは多種多様
4 年制大学だからこそ、
幅広いカリキュラム。
世界を目指すなど可能性も広がります。

社会の変化に対応した新しいビジネス戦略を生み出すためには、幅広い学びが必要です。専門分野の知識だけでなく、デザイン論や発酵学・醸造学、建築学など多様な科目を選択できます。またどんな事業でも国際化を意識するのは当然という時代。世界的な視点を持つために国際農業論、または国際森林業論を学びます。さらに希望する学生には海外実習で学ぶ機会も用意されています。



アメリカで見た大きな牧場。
いつかは自分も酪農を。

私の生まれ故郷であるアメリカ西部のカリフォルニア州を訪れた時、牧場の広さや大規模な設備に圧倒されました。スケール感だけではなくノウハウにも興味を持ち、将来は自分も酪農経営に携わりたいと考えました。本学に入学を決めたのは、少人数制でしっかりサポートしてもらえれば、知識も技術も効果的に習得できると考えたからです。専門技術と深い学びを身につけ、将来の酪農事業に役立てたいですね。

農業経営学科
鶴巻 ゴードン
Gordon Tsurumaki
九里学園高等学校出身

農業経営学科
鶴田 美樹子
Mikiko Tsuruda
神奈川県立相模原弥栄高等学校出身

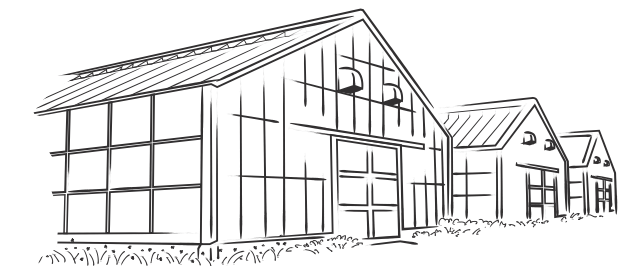
いつか野菜で独立就農。
農家カフェなどにも
挑戦したい。

進学にあたって慎重派の私は大学の農学部と農業大学校、そして2つの専門職大学のオープンキャンパスに参加しました。その中から将来の独立就農に近づけるのは本学だと感じて進学。学外の臨地実務実習を長期間でできることがポイントでした。将来は野菜の多品目栽培をしたいと思っています。また農家カフェを作ったり直接消費者に販売するビジネスも展開していきたいです。

農 dream

農業経営学科生が描く将来像。

夢を夢で終わらせないリアルな学びがある。



早くから将来の仕事として農業に就くことを家族にも相談していました。家業は農家ではなかったのですが、夢を応援してくれてありがたかったですね。元々米農家を目指していたのですが、多様な農業を知り、野菜や花きなどにも興味を持つようになりました。米作りと共にハウス栽培を活用し、経営安定を実現することも大事なのだと感じました。将来は独立就農を目指していきたいですね。

農業経営学科
高野 耕平
Kouhei Takano
山形県立山形中央高等学校出身

家族の応援を支えに、
いつか米農家として
独立就農へ。



将来の夢は果樹農家。
地元の専門職大学を選ぶ。

普通科高校在学中に地元で新しい農業の専門職大学ができると知り進学を決めました。普通科からの進学なので、農業系からの同級生に比べると基礎知識が足りないと感じましたが、1年次に基礎を学べるので問題ありませんでした。将来の夢は果樹農家。樹をしっかり健康に保ちながら農園全体を何十年もかけて育てていく大変な仕事ですが、そこにやりがいもあるのではと思います。

農業経営学科
奥山 歩美
Fumi Okuyama
山形県立新庄北高等学校出身

農業経営学科

農業経営の
プロフェッショナルを
育てる。

子どもの頃からの夢を実現したい。
祖父母の事業をさらに大きく発展させる。

農林業経営学部 農業経営学科
内條 寛斗 Hiroto Naijo
青森県立三本木農業恵拓高等学校出身

一般的には少し早いかもしれませんが、家業が農業だったこともあり中学を卒業する前には、農業を自分の一生の仕事にしたいと考えるようになっていました。祖父母が手がける水稻やニンニク栽培を見ながら、自分だったらどうするだろうと子どもなりにいろいろ想像したものです。高校2年生のときに農業クラブに入って、未来への道筋を歩み始めました。そして東北農林専門職大学に入学したことで、自分のビジョンがより具体的になったような気がします。また同じ夢を抱く仲間たちに出会えたことも嬉しいですね。4年間の内に知識と実践的な技術をしっかり身につけて、祖父母が続けてきた事業をさらに発展させていきたいと考えています。

新しい時代、農業分野の可能性を広げる。
多様なビジネスの視点を磨いていく。

1 農業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

最新の技術を使ったスマート農業など生産の現場は大きく進歩しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。また農業をしっかりと事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

2 学内外での豊富な実習で実務が学べます。

学内実習	学内圃場で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で6次産業化の基礎から販売まで学ぶ。
実地体験実習	優れた農業経営体で経営実態の理解を深める。
臨地実務実習	東北6県の農業経営体で、生産技術及び経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。
国際農業・森林業実習(自由科目)	海外の大学や先進農業地で農業経営の実態を学ぶ。

3 幅広い分野が学べます。

本学科では農業に密接に関連する分野も学修することができます(例えば、食品製造・販売、発酵学・醸造学など)。これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。

地域から世界へ。農業をけん引する未来のリーダーを育成します。

東北地方は日本有数の農業地帯です。しかし担い手不足や高齢化が深刻な問題となっています。東北農林専門職大学は知識だけ、あるいは技術だけに偏るのではなく、より現実的な農業経営の担い手を育成していきます。地域社会の発展に寄与するのはもちろんのこと、世界を相手にしたグローバルなビジネスとして展開することも可能です。地域の農業をけん引するリーダーが、将来ここから続々と巣立っていくことを期待しています。

農林業経営学部
農業経営学科
准教授 多田 史人



農業経営学科
阿部 快海
Koh Abe
宮城県農業高等学校出身

農業経営学科
齊藤 由翔
Naoto Saito
山形県立新庄神室産業
高等学校出身

農業経営学科
内條 寛斗
Hiroto Naijo
青森県立三本木農業恵拓
高等学校出身

2年次から学びはさらに深く、レベルアップ 専攻

稲作

稲作専攻では、私たちの食生活に欠かせない「稲」や「大豆」等について授業や実習をしています。美味しいお米をたくさん収穫するためにはどうすればいいのか、米づくりを楽にするためにはどうすればいいのか、などの課題解決のため、作物栽培の理論のほか、ドローンやスマート農機も活用した実践的な内容を学ぶことができます。稲作に興味があるみなさん、ぜひ一緒に学んでみませんか。

果樹

果樹専攻では、山形県を代表するオウトウ、セイヨウナシをはじめ、リンゴ、ブドウ、モモなどの多様な果樹について、栽培方法、生理生態、病害虫防除、収穫・貯蔵・流通技術まで幅広く学びます。圃場実習や講義、臨地実務実習を通し、理論と実践の両面から果樹生産の現場を深く理解することができます。次世代の果樹産業を担う、あなたの情熱を実らせてください。

野菜・花き

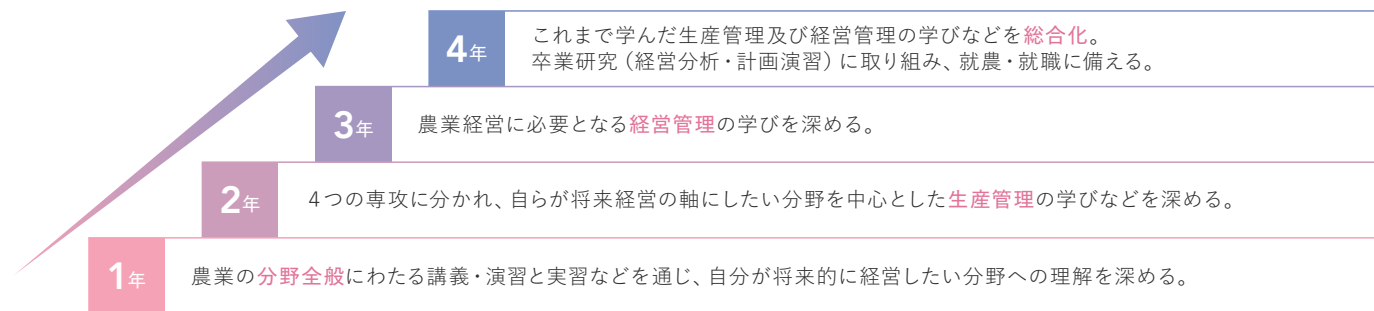
野菜・花き専攻では、東北各県で産地化されている品目を題材として、座学だけでなく学内外の実習を通して理論と実践的な技術を学びます。学内実習では、トマトやネギ、キク、トルコギキョウなどの生産を通して栽培に関する基本的な知識、技術に加え、環境モニタリングをはじめとするスマート農業に触れることができます。一緒に、新しい東北の野菜花き生産について考えましょう!

畜産

畜産専攻では、本学で飼養している肉用牛や実験室に整備されている血液検査機器等の施設設備に加え、隣接する畜産研究所で所有する家畜や試験圃場を活用した学びの場を用意しています。座学や学内実習、臨地実務実習のほか、多様な経営体や畜産関係施設の視察を通じて、飼養管理の理論と実践を学びながら“畜産業の実際”に触れ考える教育を行っています。

新しい時代、農業分野の可能性を広げる。
多様なビジネスの視点を磨いていく。

4年間の学びのイメージ



令和7年度学年暦イメージ

前 期																				後 期																																		
4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月										
1	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	2	9	16	23			
ガイダンス					ウイーク				臨地実務実習					ウイーク				臨地実務実習				補講	テスト期間	夏季休業			ウイーク				臨地実務実習				ウイーク				臨地実務実習				冬季休業				補講	テスト期間			春季休業			

※週の欄の数字は、その週の月曜日の日にち。 ※黄色が実習期間で、臨地実務実習6週、大学での授業は前期10週、後期12週。 ※全ての「臨地実務実習ウィーク」で2日以上の実習を行い、前後期それぞれで15日の実習を行う。

学びで広がる世界（進路）

農業経営学科

■独立就農 ■農業法人 ■農業関連団体 など

農業経営学科の時間割 [2年 / 前期の前半]

	月	火	水	木	金
1	園場実習Ⅱ		園場実習Ⅱ	情報活用	園場実習Ⅱ
2		社会福祉論		政治学概論	
3			栽培各論	東北シリーズ	
4				ビジネス英語Ⅱ	農業生産工程・ 食品衛生論
5	建築学	栄養学			

オンデマンド講義：社会学概論、発酵学・醸造学

農林業経営学部 農業経営学科
六吹学園高等学校出身

向田 梨乃

大学で「果物」について学んでみたいと考えていたところ、知人からこの大学の存在を教えてもらいました。カリキュラムの内容は実践的な学びが豊富です。例えば栽培管理に加え生産管理についても学べ、さらに6次産業化についても知ることができます。リアルなマーケット状況と将来の可能性をふまえながら、専門的な知識と技術を身につけられる環境です。また様々な資格取得に力を入れていますので、進路選択にあたって自分に自信が持てるようになりますと思います。



臨地実務実習先紹介

實習先

1 農事組合法人
村木沢あじさい園農組合

長く農業で成り立ってきた地域だからこそ、農業の危機感を共有し、なんとかしようという思いから生まれた組合です。平成25年にはさらに地域の農業の将来を見据えて法人を設立。現在も個別の農家とていねいに話し合いながら、事業の充実を図っています。

実習に来られる学生のみなさんにとって3年間という長期にわたって農業の現場を経験する機会は、本当に価値あることだと思います。作業内容だけでなく、農業経営の現場で日々、どう考え感じているかを身体で学ぶことは将来きっと役立つはずです。ぜひ我々と一緒に地域や日本の農業を元気にしてほしいですね。



PROFILE

山形県山形市反町5番地1
平成18年9月：特定農業者団体 設立
平成25年4月：農事組合法人 設立
組合員数：292名（令和7年現在）
従業員数：14名（令和6年4月現在）
主な生産・販売品目：米、大豆、小麦、そば、里芋、枝豆、
落葵飯、その他農産物、みそ、ラーメン他委託加工品
平成25年度
山形県ベストアグリ賞「東北農政局長賞」受賞
全国農産協同組合中央会主催「第1回地産営農ビジョン
大賞」実技部門大賞受賞
<https://murakisawa-ajisai.or.jp/>

實習先

2 有限会社
熊谷園芸

主たる事業は、バラやりんどう、ピバーナムなどの切り花栽培です。さらに花束などにアレンジし販売しています。インターネットで様々なボリューム、スタイルの花束をお客様がご予算や生活シーンにあわせて買い物いただけるようホームページも工夫しています。花に限らず農産物は高品質のものを生産するのは当たり前で、それをどう売るかマーケティングも考えることが農業経営です。花の栽培というときいで派手なイメージもあるかもしれませんが、他の農業分野と同じできちんとした技術で取り組むことが安定経営には必要です。実習ではじっくり技術を学び、さらに農業経営の視点からどう売るかも考えてほしいですね。

PROFILE

山形県最上郡鮭川村京塚字中ノ沢4701-3
昭和49年：農業塾 卒業
昭和63年：有限会社 熊谷園芸 設立
事業内容：バラ・りんどう・ビバナムの生産・販売
生産品種数：バラ／約40品種、
りんどう／10品種以上
栽培面積：温室面積／25,356㎡、
露地面積／7,504㎡
2021年：やまがたフラワーフェスティバル2021
「金賞 農林水産大臣賞」
<https://kg-rose.com/index.html>



高品質の切り花を安定生産
生活シーンに映える花を
ネットで消費者へ直接販売。

生活シーンに映える花を
ネットで消費者へ直接販売。

農業経営学科
古山 大森
日本航空高等学校出身

ここに集い、高め合う。
農業経営の未来を担う若き力が



次代の農業を創る、幅広い視野を持った人材を育成します。

農業、森林業は人が生きていく上で必須の食料を生産し、生活に影響する自然環境に強く関わります。それを学び、それを担うことは大変尊いことといえます。

農業経営学科では、その素質の発揮に必要な生産理論や技術などの知識と経験を獲得できます。生産管理と経営管理などを体系的に学ぶ「職業専門科目」を通して東北の農業の現状と課題を理解し、解決方法を考える力を身につけることが可能です。また、教養を深める英語や情報などの「基礎科目」と、農業経営のための様々な知識を獲得できる「展開科目」でさらに視野を広げることができます。そして、学んだことを実践するために自らが目指す農業経営の分析・計画作りを実習先の経営者と教員がサポートします。未来の農業経営者を目指すみなさんを待っています。

東北農林専門職大学
農林業経営学部学部長
(兼) 農業経営学科 学科長
小沢 互
Wataru Ozawa

博士(農学)(東北大学) 専門分野: 農業経済学

秋田県立農業短期大学、山形大学農学部等で農業経営・経済の教育と経営効率性、地域の合意形成、農業者のモチベーションを研究。山形県農業・農村政策審議会会長を長年にわたり務める。山形大学名誉教授

Pick Up Curriculum

農業経営学科のカリキュラム

農業概論 日本と世界の農業が直面している現状と課題、6次産業化、各農業分野におけるこれからの展望等について学びます。これらを通じて、稲作や園芸作物・畜産の生産や生産物の取扱いに関する基礎全般について知識を深めることができます。	土壌・肥科学 近年、地域資源や有用生物を活用した持続的・環境保全型農業に対するニーズが高まり、環境に配慮した栽培を行う上で土壌・肥料に関する知識は非常に重要なものとなっています。本科目では、土壌の基礎知識のほか、養分吸収特性、植物生産の代謝との関連、栄養特性、肥料の種類と特性等について学びます。	食品生産工程・食品衛生論 食品衛生と農業生産工程管理（GAP）について学びます。食品衛生に関する科学と関連法規の知識はこれからの農業経営にとって必須です。本科目では、食品と微生物、食中毒、汚染物質、食品衛生管理と併せて、GAPの仕組みと管理方法、リスク評価方法について学びます。
先端農業技術論 AIやドローン、ICTなどに代表される農業分野での技術革新が進む中、この新たな技術を取り入れた生産性・収益性の高い農業の実践が求められています。本科目では、各分野の専門家を招聘し、農業分野における先端技術の活用に向けた研究開発・実証・実施・普及の状況やその内容等について学びます。	農業経営分析・計画 農業経営は、経営状況の把握・分析をしっかり行い、それに基づいて適正な経営計画を立案し、確実に実行していく必要があります。本科目では、経営分析や経営計画の考え方や手順、コンピュータを利用したデータ処理の技術を学びます。	農山村活性化論（両学科共通） 過疎化や高齢化、耕作放棄地の増加など、様々な課題を抱える農山村地域。そのあり方を地域住民の視点で考えていく必要があります。本科目は、同時期に開講する「農山村活性化論演習」の学びとともに、農山村の生活や地域社会を取り巻く課題を理解し、その改善や解決に向けた対応と手法について学びます。

学問理論と現場の実践。研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

農業経営学科では稲作、果樹、野菜・花きおよび畜産の各専攻分野に研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置するほか、養成する人材像に関連の高い農産加工および経済・経営の専任教員も配置し、理論と実践とを関連づけて学べるハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

例えば、こんな研究をしている教員がいます

■農林業の生態系循環と地域産業の活性化に取り組む教員

■さくらんぼの育種や栽培に長年取り組み、新品種の育種を数多く行った教員

■和牛肉の食味の見える化の研究等を通じ、多数の特許等を取得している教員

農業経営学科の定員および専任教員

入学定員	収容定員 (+3年次編入)	専任教員			教員数計
		学部長・学科長	研究者教員	実務家教員	
32	128+4	1	7	11	19

農業経営学科 カリキュラムマップ

■:必修科目 ■:選択科目
■:自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)

1年		2年		3年		4年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目 (20)	地域等の特性(4単位)						
	山形・東北の 風土・伝統文化(2)				哲学と東北(2)		
	コミュニケーション能力(6単位)						
	(自由)英語基礎(2)	ビジネス英語Ⅰ(2)	ビジネス英語Ⅱ(2)				
	コミュニケーション論(2)						
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)						
キャリアサポートセミナーⅠ(1～4年)、Ⅱ(2～4年)、Ⅲ(3～4年)							
スポーツ(1)		SDGsと倫理(2)		情報活用(1)		経済学入門(2)	
2単位を選択 ■気象・気候学概論 ■統計学		2単位を選択 ■政治学概論 ■社会学概論 ■法律学概論					
職業専門科目 (79)	生産技術・理論(30単位)						
	■土壌・肥料学(2) ■農業概論(4) ■耕畜連携論(1)		農業概論演習(2)		先端農業技術論(1)		
	2単位を選択 ■植物保護学 ■家畜衛生学		2単位を選択 ■栽培各論(稲作) ■栽培各論(果樹) ■栽培各論(野菜・花き) ■飼育各論(畜産)				
	園場実習Ⅰ(8)		8単位を選択 ■園場実習Ⅱ(稲作) ■園場実習Ⅱ(果樹) ■園場実習Ⅱ(野菜・花き) ■園場実習Ⅱ(畜産)				
	経営全般(43単位)						
	農業実地体験実習(1)		農業生産工程・ 食品衛生論(2)		■SDGsと農業・ 森林業(2) ■国際農業論(1)		■マーケティング論(2) ■農業経営分析・ 計画(2) ■税制・簿記論(1)
			臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)(8)		臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)(8)		簿記各論(1)
			(自由)国際農業・ 森林業実習(2)		どちらか1つの 履修時期を選択		(自由)国際農業・ 森林業実習(2)
							臨地実務実習Ⅲ(経営総合)(8)
	地域課題解決能力(6単位)						
		2単位を選択 ■東北の稲作 ■東北の果樹 ■東北の野菜・花き ■東北の畜産		■農山村活性化論(2) ■農山村活性化論演習(2)			
展開科目 (24)	応用的・創造的能力(24単位)						
	講義(必修:2年後期、選択:1～4年前期):2単位、演習(1～4年後期):2単位、実習(3年通年):2単位 ※講義12単位と演習・実習12単位を選択						
			食品製造・販売(2)		食品製造・販売実習(2)		
	■デザイン論(偶数年度開講) ■デザイン論演習(偶数年度開講) ■金融論(奇数年度開講) ■金融論演習(奇数年度開講) ■発酵学・醸造学(偶数年度開講) ■発酵学・醸造学演習(偶数年度開講) ■建築学(奇数年度開講) ■建築学演習(奇数年度開講) ■社会福祉論(偶数年度開講) ■社会福祉論演習(偶数年度開講) ■栄養学(奇数年度開講) ■栄養学演習(奇数年度開講) ■山形・東北観光学(奇数年度開講) ■山形・東北観光学演習(奇数年度開講)						
総合 科目 (4)	総合的能力(4単位)						
							経営分析・計画演習(4)

取得学位について	農學士(専門職)
----------	----------

取得を目指す資格一覧

■小型車両系建設機械(整地・運搬・積込用、掘削用)運転特別教育修了証

■フォークリフト運転技能講習修了証

■大型特殊自動車免許(農耕用)

■刈払機取扱作業安全衛生教育修了証

■日商簿記検定(2級)※1

■食の6次産業化プロデューサー(レベル3)※2

※1 試験範囲を網羅した授業を実施。資格取得のためには検定試験を受験して合格する必要がある。

※2 指定の科目を履修することで、資格取得の要件が満たされる。資格取得を希望する場合は、資格審査事務局に申請する必要がある。



森林業経営学科
佐々木 勇斗
Hayato Sasaki
秋田県立横手清陵学院高等学校出身

山や林の可能性に注目して、
森林業の新ビジネスを
展開したい。

新大学の1期生になれること、実習と座学が同じくらいあることに惹かれました。「森林業」のフィールドは、まだまだ利用されていない可能性があると思います。特に観光や健康など従来の建材を生産することがメインの林業の枠に収まらない新ビジネスに興味を持っています。将来は森林業のビジネスを拡張して新しいカテゴリーに進出し、安定した企業を運営したいと考えています。



森林業経営学科
齋藤 優大
Yudai Saito
山形県立村山産業高等学校出身

木工事業の企業経営をめざして。
いつか木の家具や玩具をつくる。

私は高校でも林業を学びましたが、大学ではより専門的で高度な内容となりました。チェンソーなども現場に即した専門的な技術を修得できる体制になっています。キノコ類などの生産物についても学べ、森林業の可能性を感じられます。将来は木工を中心に事業展開する企業を運営したいと考えています。例えば若い方にも受け入れられる木工家具や、子どもたちのための木工玩具などです。

森林業経営学科生が描く将来像。

林 dream

夢を夢で終わらせないリアルな学びがある。



森林業経営学科
黒澤 成斗
Naruto Kurosawa
山口県立山口中央高等学校出身

将来は研究職をめざしたい。
森林資源を守り、
活用する。

1年生のときの実習で「マツノザイセンチュウの防除」についてお話を伺ったことが強く印象に残っています。2年生になって実習も指示を待つだけでなく、自分で判断しながらどんどん進められるようになりました。毎日忙しくなりましたが、日々の学びは益々中身が濃くなり充実しています。将来は大学院へ進むことも視野に入れて、研究職をめざして頑張っています。



森林業経営学科
工藤 遼祐
Ryousuke Kudo
宮城県田尻さくら高等学校出身

将来は森林を活用する事業。
木工への興味から進学、

高校で木工を、さらに遊べば「独楽」に興味を持ったのがはじまりでした。独楽の作り方を学ぶうちに、木工用の旋盤を使うようになり、他の木工製品へと興味が広がっていったのです。高校で木工品を販売するなどの活動の経験もあり、小さなビジネスとしてもおもしろさを感じました。森林が生み出す価値、可能性を学びながら、将来は木工や森林観光を活用する企業を運営してみたいですね。

森林業経営学科

森林業の新しい価値を

創造していく人材を

育てる。

森林業の新しさに魅力を感じ進学。
少人数の教育体制でしっかり学ぶ。

農林業経営学部 森林業経営学科
高橋 心月 Mizuki Takahashi
宮城県佐沼高等学校出身

高校生のときに入手した本学の資料の中で林業ではなく「森林業」とあり、大いに興味を持ちました。資源の活用に加えて様々なサービスをビジネスとして展開する「森林業」という分野に新しさを感じたのです。座学だけでなく実習の機会が豊富で多様な経験を積みそうと思ったことも、元来スポーツなど身体を動かすことが好きな自分にぴったりな環境と判断して入学を決めました。入学後は特に先生方との距離が近く、質の高い授業内容としっかりとしたサポートを受けられる少人数制のメリットを日々感じています。

林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組み、
時代の要請に応えるビジネスを構築。

1 森林業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

現場では機器の飛躍的な進歩により自動化、省人化が進み、労働環境も大きく変化しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。またしっかり事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

2 学内外での豊富な実習で学べます。

学内実習	学内演習林で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で木材・加工・販売を学ぶ。
実地体験実習	優れた森林業事業体で経営実態の理解を深める。
臨地実務実習	東北6県の森林業事業体で、生産技術および経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。
国際農業・森林業実習(自由科目)	海外の大学や先進森林業地で森林業経営の実態を学ぶ。

3 幅広い分野が学べます。

本学科では森林業に密接に関連する分野も学修することができます(例えば、森林生態系サービス保全利用論など)。これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。



森林業経営学科
會田 望華
Mihana Kaide
山形県立上山明新館
高等学校出身

森林業経営学科
高橋 心月
Mizuki Takahashi
宮城県佐沼高等学校出身

経済性と環境保全の
両立がテーマ。
森林資源の持続的
利活用を担う
人材の育成を目指す。

産業の発展を目指す際に、儲けにつながる経済性にどうしても目が行きがちです。しかし森林業は、山の斜面が仕事場であるため、災害リスクがつきまとう産業分野であるといえます。よって本学では、森林業の発展に向けた経済性に関することと共に、災害防止による環境保全や森林で働く人の安全性向上についてもしっかり学んでいただきます。そして卒業後は、高度な知識とスキルを持ったバランス感覚の良い人材として、森林の恵みを持続的にフル活用する多様な場面で活躍していただきたいと思います。

農林業経営学部 森林業経営学科
准教授 小山 敢

2年次から学びはさらに深く、レベルアップ 専攻

森林資源管理

東北には日本の森林の2割弱が分布し、森林の恵みが地域の経済と社会を支え、さらに地域の独特な文化を育んできました。こうした森林を将来にわたって持続的に管理していくための実践的な知識と技術を学びます。単に再生可能な木材をはじめとした林産物の生産だけではなく、多様な生態系サービスを持続的に提供できる森林資源管理のあり方を理論と実践の両面から学びます。



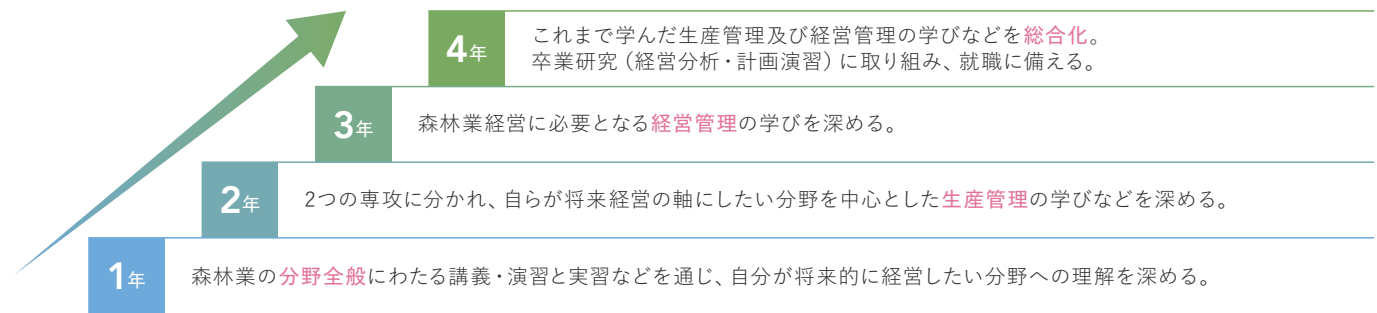
森林資源利活用

東北では春には山菜、秋にはきのこ、クルミやクリの果実などの森林の恵みを享受してきました。また、古くから森林は山岳信仰の場としても大切にされてきました。森林は林産物の生産の場だけではなく、森林の空間を利用したレクリエーション、学習の場、地域の文化醸成の場としても可能性を秘めています。木材をはじめとした林産物利用に加えて、様々な森林の生態系サービスを利用した森林資源利活用の可能性について学びます。



林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組み、
時代の要請に応えるビジネスを構築。

4年間の学びのイメージ



令和7年度学年暦イメージ

前 期																後 期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	2	9	16	23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ガイ ダン ス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

※週の欄の数字は、その週の月曜日の日にち。 ※黄色が実習期間で、臨地実務実習6週、大学での授業は前期10週、後期12週。 ※全ての「臨地実務実習ウィーク」で2日以上の実習を行い、前後期それぞれで15日の実習を行う。

学びで広がる世界（進路）

森林業経営学科

■森林組合 ■素材生産事業体 ■製材・木材加工事業体 ■森林業関連団体・企業 ■官公庁 など

森林業経営学科の時間割 [2年 / 前期の前半]

	月	火	水	木	金
1	演習林実習Ⅱ	森林情報学	測量学	情報活用	演習林実習Ⅱ
2		社会福祉論	森林生態系 サービス保全 利用論	政治学概論	
3	東北シリーズ				
4				ビジネス英語Ⅱ	木質科学概論
5	建築学		栄養学		

オンデマンド講義：社会学概論、発酵学・醸造学

農林業経営学部 森林業経営学科
北海道千歳高等学校出身

他の大学に比べて、座学だけでなく実習の時間が多いことが入学を決めた理由です。また自然豊かな山形県にあることも、森林業という分野を学ぶうえでは最高のフィールドだと感じています。実習で専門的な機器を操作する際には、現場経験が豊富な先生からきめこまかく指導していただけます。まさにこの大学の少人数体制という強みがいかにされている環境です。将来は東北の森林業を盛んにして次世代へつないでいく仕事をしたいと考えています。



臨地実務実習先紹介

實習先

1 北庄内森林組合



PROFILE

山形県酒田市飛鳥字
大林547番地1

設立:平成20年4月

組合員数 : 6,537名

支所：酒田
業務内容：木材整備。

管理・調査／森林病

虫獣害防除／山林種

苗の生産配布／林業
田舎材の販売等

用貝材の販売等

實習先

2 株式会社
天童木工

当社は戦時中に若い世代が地域で働く場を確保するために生まれた企業です。地域を活性化することが原点にあるといえます。また早くから技術の大切さを企業の核とし、あらゆる木材を活用できる成形合板技術の開発が、今日の天童木工ブランドの基礎となっています。自然素材を用いながら安定した品質で、大量生産を可能としたことで大手企業の顧客の高い要求に応えられる製品を作ることができるのです。実習の学生の方には、企業の一部だけではなく素材のスタートから、生産ラインを経て、営業の現場まで全体を経験してほしいと考えています。つまり社会でどう役立つ製品を作るのかを実感していただきます。



新しい事業分野を展開していく。

森林が持つ可能性を活用し、



現場でリアルな経験を重ね、大学で幅広い知識を学ぶ。

森林が本来持っているポテンシャルを見直し、活用することこそが従来の林業を超え、これからの事業分野として成長が期待される「森林業」です。森林業経営学科では例えば森林の再生力をふまえ必要な経済性を加味した総合技術学としての「森作り（造林）」のあり方を学生の皆さんとともに森林・林業の現場から考えていきたいと思います。

東北農林専門職大学の強みは、2年次からの臨地実務実習で現場経験を重ねながら、並行して大学で学ぶことができるという、これまでにない新しい学びのスタイルです。より実践的に、より専門的に「森林業」の学びを深めることができます。また卒業時に4年制大学の学士号を取得し、卒業後のキャリア形成にも選択肢の幅と多様性を持たせることができることも特徴です。

東北農林専門職大学 森林業経営学部 森林業経営学科 学科長 大久保 達弘 Tatsuhiko Ohkubo	農学博士(東京大学) 専門分野:森林生態学・造林学 宇都宮大学農学部で森林科学、森林生態学、造林学を教育研究。東京農工大学大学院連合農学研究科教授(併任)、米国イェール大学森林学環境学専門職大学院客員准教授を歴任、宇都宮大学名誉教授。栃木県森林審議会会長を歴任、山形県樹氷復活県民会議構成員
--	--

Pick Up Curriculum

先端森林業技術論	森林業経営分析・計画	木質科学概論
近年はスマート林業の取り組みや林業イノベーションが進み、AIやICTを利用した先端技術によって、造林から流通までが効率化され、森林業経営の収益性が高まっています。本科目では、研究開発・実証・実施・普及の状況をふまえ、森林業分野における先端技術（ICT、レーザー森林解析、ロボット等）の活用方法等について学びます。	本科目では、持続可能な森林業経営が形成される過程で、それを確実にするためにどのような考え方、方法がとられてきたのか、将来にわたりどのようなことをすればよいのかなど、森林業経営の基本的な考え方と実践手法（森林資源の現状分析、森林の経営目的と指導原則、伐期、収穫規整、森林の評価など）について学びます。	木材の持続的な生産と利用を実現するためには、樹木の適正な管理だけでなく、樹木の特徴や性質を理解する必要があります。本科目では、広葉樹、針葉樹の木質組成の違い、木材の密度と水分が木材の物理性に及ぼす影響、木材の物理的性質や化学成分、利用方法等、木材の科学的特徴や性質等に関する知識を学びます。
森林生態系サービス保全利用論	造林学	森林環境政策
本科目では森林生態系サービスビジネスに関する基礎的な知識について学び、さらに生態系サービスの維持増進を図り、観光産業、教育産業、健康産業をはじめとした他分野との融合を図ることで、新たなビジネスの創設などへの展開を図るため、生態系サービスへの支払い（PES）の知識について学びます。	地域毎の環境に最適な森林を育成するためには、樹種毎の生育特性を理解したうえで、森林を仕立て（造林）、その成長を経時的に評価し、手入れ（保育）をしていく必要があります。本科目では、日本（特に東北地方）、海外の針葉樹、広葉樹の造林技術の基礎、その取り組みと課題について学びます。	本科目では「国内外の森林政策の歴史的な展開過程」、「森林環境管理と生態系管理の基本的な考え方」、「参加・協働の考え方と取り組み事例」、「世界の森林保全問題」について理解しながら、国内外の森林・林業・環境に関する政策や参加・協働型の政策形成手法など持続可能な森林業の実践のための基礎的な知識について学びます。

大学としての学問理論と森林業の現場の実践。

研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

森林業経営学科は森林資源管理および森林資源利活用の各専攻分野に研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置し、理論と実践とを関連づけて学べる、ハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

例えば、こんな研究をしている教員がいます

- 森林の多面的機能に資する森林を造成する技術や生態系を管理する技術を研究している教員
- スマート森林業実施のための先端的森林施業技術を研究している教員
- 森林サービス産業と革新的な森林ビジネスを研究している教員

森林業経営学科の定員および専任教員

入学定員	収容定員 (+3年次編入)	専任教員			教員数計
		学科長	研究者教員	実務家教員	
8	32+4	1	4	4	9

森林業経営学科 カリキュラムマップ

森林業経営学科 カリキュラムマップ								
■:必修科目 ■:選択科目 ■:自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)								
	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目(20)	地域等の特性(4単位)							
	山形・東北の風土・伝統文化(2)				哲学と東北(2)			
	コミュニケーション能力(6単位)							
	(自由)英語基礎(2) ■ビジネス英語Ⅰ(2)		■ビジネス英語Ⅱ(2)					
	コミュニケーション論(2)							
	一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)							
職業専門科目(84)	キャリアサポートセミナーⅠ(1～4年)、Ⅱ(2～4年)、Ⅲ(3～4年)							
	■スポーツ(1) ■SDGsと倫理(2) 2単位を選択 ■気象・気候学概論 ■統計学		■情報活用(1) ■経済学入門(2) 2単位を選択 ■政治学概論 ■社会学概論 ■法律学概論					
	生産技術・理論(32単位)							
	■森林土壌・樹木学(2) ■造林学(2) ■森林生産学(2) ■森林労働安全衛生論(1)		■非木材森林産品概論(1) ■森林保護学(2) ■森林保全学(2)		■測量学(2) ■森林情報学(1) 先端森林業技術論(1)			
	演習林実習Ⅰ(8)		演習林実習Ⅱ(8)					
	経営全般(46単位)							
展開科目(24)	森林業実地体験実習(1)		木質科学概論(2) ■SDGsと農業・森林業(2) ■国際森林業論(1) ■木材利活用論(2)		■森林環境政策(2) ■組織マネジメント論(2) ■森林経営管理学(2)		■マーケティング論(2) ■森林業経営分析・計画(2) ■税制・簿記論(1)	
			臨地実務実習Ⅰ(生産管理等)(8)		■臨地実務実習Ⅱ(経営管理等)(8) ■木材加工・販売実習(2)		簿記各論(1)	
			(自由)国際農業・森林業実習(2)		どちらか1つの履修時期を選択		(自由)国際農業・森林業実習(2)	
	地域課題解決能力(6単位) 【講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択】							
			2単位を選択 ■東北の森林資源管理 ■東北の森林資源利活用		■農山村活性化論(2) ■農山村活性化論演習(2)			
	応用的・創造的能力(24単位) 講義(必修:2年前期、選択:1～4年前期):2単位、演習(必修:2年後期、選択:1～4年後期):2単位 ※講義12単位と演習12単位を選択							
科目総合(4)	森林生態系サービス保全利用論(2)		森林生態系サービス保全利用論演習(2)					
	■デザイン論(偶数年度開講) ■デザイン論演習(偶数年度開講) ■金融論(奇数年度開講) ■金融論演習(奇数年度開講) ■発酵学・醸造学(偶数年度開講) ■発酵学・醸造学演習(偶数年度開講) ■建築学(奇数年度開講) ■建築学演習(奇数年度開講) ■社会福祉論(偶数年度開講) ■社会福祉論演習(偶数年度開講) ■栄養学(奇数年度開講) ■栄養学演習(奇数年度開講) ■山形・東北観光学(奇数年度開講) ■山形・東北観光学演習(奇数年度開講)							
総合的能力(4単位)								
経営分析・計画演習(4)								

Case 1
自宅
から通う
農業経営学科生

農林業経営学部
農業経営学科
宮川 昂大
Kodai Miyakawa
山形県立新庄神室
産業高等学校出身



代々実家が農家だったので、小さい頃から農業は身近でした。幼稚園の頃には、将来自分が後を継ぐと親に明言していた記憶があります。先ごろ父が法人化を実現して株式会社となりました。自分の代にはAIを使うなど業務を改善して、さらに拡張していきたいと考えています。平日は居酒屋さんのアルバイトで社会勉強ですね。休日は友人たちと遊ぶことが多いかな。



学生の
とある1日

図書館で参考資料を
探すこともよくあります。

大学に通う日 (学内講義の日)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食			授業		昼休憩		授業		一時帰宅 アルバイト準備		アルバイト (隣の夕食含む)					帰宅	就寝
大学に通う日 (学内実習のある日)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食			学内実習		昼休憩		サークル活動				アルバイト (隣の夕食含む)					帰宅	就寝
臨地実務実習の日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食	移動		臨地実務実習		昼休憩		臨地実務実習		移動		夕食 休憩		実習の 振り返り		就寝		
休日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食		家業(農業)の手伝い		昼休憩			友人とドライブ				夕食		ゲーム		予習		就寝

Case 2
アパート
から通う
森林業経営学科生

農林業経営学部
森林業経営学科
佐々木 勇斗
Hayato Sasaki
秋田県立横手清陵学院
高等学校出身



座学だけでなく、臨地実務実習があるということが入学を希望する大きな理由でした。これからどんどん忙しくなるでしょうが、それもまた充実していることだと思ってがんばります。自分では元来それほど積極的なタイプではないと思うのですが、大学に入ってから、できるだけ何でもチャレンジしようと友だちと話しています。外部の企画でも誘われたらぜひ参加したいですね。



学生の
とある1日

参考になる図書が
豊富なので、自分で研究す
るのに大いに役立ちます。

キャンパス内に
広々とした駐車スペースが
あるので自動車の
利用にも便利です。

スペースが新しく、
余裕があるので気持ちよく
自習などに利用できます。

大学に通う日 (学内講義の日)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食			授業		昼休憩		授業		一時帰宅 アルバイト準備		アルバイト (隣の夕食含む)					帰宅	就寝
大学に通う日 (学内実習のある日)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食			学内実習		昼休憩		学内実習				夕食	洗濯 掃除		自由時間		就寝	
臨地実務実習の日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	起床 朝食	移動		臨地実務実習		昼休憩		臨地実務実習		移動		ジム		夕食		自由時間		就寝
休日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		起床 朝食		家事		昼食		ショッピング		ジム		休憩		アルバイト (隣の夕食含む)				就寝

私 が 東 北 農 林 専 門 職

大 学 を 選 ん だ 理 由

経営のプロから学べる実習が豊富。
アットホームで安らげる雰囲気。

進路を検討する時期に、テレビで新しい大学が誕生するという報道に関心を持ちました。学問を探究するだけではなく、実践的な実習も大切にする4年制大学という内容は新鮮に感じましたね。臨地実務実習や農業実地体験実習という経営のプロから直接学べることは大変貴重な経験です。また学生の数に対して教職員が多いということは、入学してから特に教育の手厚さを実感しています。同様に少人数だから先輩・後輩も仲良く、アットホームな雰囲気です。



農林業経営学部
農業経営学科
佐藤 亜紀
福島県立
福島明成高等学校出身

キャンパス内に広々とした圃場。
実習で本格的な農作業を体験。

友人から山形県内に新しい公立大学が誕生する、という情報を得て、大いに興味を持ちました。注目したのは、4年制の大学でありながらカリキュラムの中で農業の実習が豊富ということ。実際に広々とした圃場で作業ができるのは、日々リアルに農作業を体験できるようなもの。また新しい校舎はきれいで、木の香りがして癒やされる空間です。学生食堂や図書館などの施設はどこも明るく安らげる雰囲気です。いつでも気持ちよく学生生活を送れると思います。



農林業経営学部
農業経営学科
大戸 颯汰
東北文科大学
山形城北高等学校出身

新しく、明るいキャンパスで学ぶ。
少人数体制だから学生、先生とより良いつながり。

インターネットで大学の情報を知ったときは、少しまじめすぎる学校かなと思いました。が、地元の新しい大学ということに魅力を感じ入学しました。実際には校舎が新しく明るい雰囲気、少人数だから皆が仲良く快適です。学生数が多くない方が、自分では前向きに学ぶことができる環境と感じます。先生方ともコミュニケーションが取りやすく、自由に学べる環境が嬉しいです。元々興味があった木の利活用についてさらに学んでいきたいと考えています。



農林業経営学部
森林業経営学科
会田 望華
山形県立上山明新館
高等学校出身

森林業を座学と実習のハイブリッドで学ぶ。
将来は地域を活性化させる経営者を目指す。

受験用のサイトを探索しているときにこの大学の情報に初めて触れました。林業ではなく森林業という新しい言葉に興味を持ちました。森林業はまさに森林資源を様々な活用し、環境についても含まれるという新しい分野であり、概念と知り学びたくなったのです。座学で知識を深く探究し、実習で実践的な技術を得ることができるというハイブリッドなカリキュラムに魅力を感じました。将来は森林業のビジネスで地域を活性化できる経営者になりたいと思っています。



農林業経営学部
森林業経営学科
工藤 慶
東北高等学校出身

Campus facilities & Spaces

知と技を磨く広大なキャンパスです。



キャンパス図



講義室・演習室

- 大講義室(302席)※地域住民等も利用可能
- 専門職大学用:講義室4室、演習室6室
- 農林大学校用:講義室2室、演習室6室
- ICT・GIS教室

大学教員研究室・セミナー室

- 教員研究室(30室)、セミナー室(6室)

実験室

- 実験室1(品質評価)、実験室2(化学分析)

事務部門

- 学長室、学部長・学科長室、事務局長室、事務室、秘書室
- 農林大学校職員室、校長室、職員更衣室
- 応接会議室、会議室1～3、警備員室、印刷室、書庫・倉庫

医務室等

- 医務室、カウンセリング室

福利厚生施設

- 学生食堂、自動販売機コーナー
※学生食堂は地域住民等も利用可能
- 学生ラウンジ ■学生更衣室 ■学生自習室

大学附属図書館

- 閲覧席、レファレンスルーム、図書整理室、閉架書庫
※地域住民等も利用可能

附属施設

- 圃場(水田、畑地、果樹園、野菜・花き(露地、ハウス))
- トラクター練習場
- 畜産実習棟(牛舎)、牧場 ■演習林

周囲を豊かな自然に囲まれた広大なキャンパスにそびえる真新しい学び舎。

高等教育機関にふさわしいアカデミックな空間には、若き知の探求者の想いが満ちています。

広大な圃場、演習林、最新の機器など、まさに学びの情熱に応える環境です。



大講義室



ICT・GIS教室



学生ラウンジ



附属図書館



学生食堂

大学附属施設

スマート農業 研究・研修センター



農業経営の大規模化、稲作や野菜・花き栽培の省力化、多収、高品質化の実現を目指してリモートセンシングや生育環境モニタリング装置を備えた施設。本学の教員と農業経営体などが連携して環境モニタリング方法をテーマとする研究・研修に取り組みます。

スマート畜産 研究・研修センター



畜産分野の経営の大規模化、省力化、高品質化を目指して牛群管理システムや分娩監視装置などの様々なデジタル機器を備えています。東北地方の畜産の生産性の向上に貢献することを目指しています。

気候変動対応型農業 研究・研修センター

気象災害の激化に対応するための屋外気象モニタリング装置などを備えた施設です。本学の教員と農業経営体などが連携して異常低温による霜害の回避、軽減が期待されている低コストのヒーターの効果検証や、効率的な利用技術の開発をテーマとする研究・研修に取り組みます。



スマート森林業 研究・研修センター



森林資源の適切な維持管理や利活用を拡大するため、リモートセンシングやレーザー測量などで集積したデータの解析、ドローンによる森林データの集積及び解析と実証、技術開発に必要な設備・施設を備えています。東北の森林業の事業効率化や、森林業の経営基盤強化、生産性向上に貢献することを目指しています。

入試情報



入学者選抜要項は大学のホームページ
(<https://tpuaf.ac.jp/university/>)から取り寄せることができます

東北農林専門職大学では、「アドミッション・ポリシー」を踏まえ、以下の入試内容を適切に組み合わせて実施します。

区分	一般選抜	総合型選抜	指定校推薦型選抜	特別選抜 (社会人、私費外国人留学生)
対象	山形県内外を問わず、農業又は森林業に高い関心を持ち、農業又は森林業の課題解決持続可能な地域の発展に貢献する意欲がある者	高等学校等を卒業見込み又は卒業しており、学業成績が評定平均3.5以上で、農業又は森林業に高い関心を持ち、課題解決や持続可能な地域の発展に貢献する意欲がある者	本学が指定する山形県内の高等学校を卒業見込みで、学業成績が評定3.5以上で、農業又は森林業に高い関心を持ち、課題解決や持続可能な地域の発展に貢献する意欲があると校長が認め、及び推薦する者	社会人：満22歳以上かつ勤務経験3年以上の者 私費外国人留学生：日本語能力試験でN2以上の成績を収めた者又は相当と認められる日本語能力を有する者
選抜方法	●大学入学共通テスト ・外国語(英語) ・数学(①数学I、②数学I、Aのいずれかを選択) ・理科(①物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎※、②物理、③化学、④生物、⑤地学のいずれかを選択。 ※①の場合、出題範囲4科目から2科目を選択) ●小論文 ●面接 ●調査書 ●志望理由書	●調査書 ●小論文 ●面接 ●志望理由書	●調査書 ●面接 ●志望理由書	●書類 ●面接 ●志望理由書
人数	農業経営学科 10名 森林業経営学科 4名	農業経営学科 10名 森林業経営学科 2名 ※東北6県の高校出身者向けの優先枠を設ける	農業経営学科 12名 森林業経営学科 2名	農業経営学科 各1名 森林業経営学科 各1名 ※総合型選抜の内数

学費・奨学金

入学料・授業料

入学考査料	入学料	授業料(年額)
17,000円	山形県内者282,000円 山形県外者564,000円	535,800円

※この他、実習実験費等の納付を別途求めることがあります。 ※以上の内容は予定であり、変更となる場合があります。
※大学独自の減免制度があります。詳しくは担当までお問合せください。

奨学金情報

- 文部科学省／高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金、授業料等の減免)
- 日本学生支援機構の奨学金
- 農林水産省／新規就農者育成総合対策(就農準備資金)
- 都道府県が認める道府県の農業大学校等の研修機関等で研修を受ける就農希望者に、最長2年間、月12.5万円(年間最大150万円)を交付します
- 山形県／やまがた森林業次世代育成支援金制度
- 森林業経営学科学生で卒業後6年間、県内森林業分野への就業者に、最長4年間、年75万円を給付します

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

1 農業経営学科

- ア 東北・山形の地域性について理解するとともに、専門分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力及び様々な文化や考え方を理解する能力を有していること。
- イ 農業の生産管理に関する知識や技術を有していること。
- ウ 我が国はもとより、農業に関連する世界の情勢を見据えて農業を実践していく基礎を修得し、その上に、農業の経営管理に関する知識や技術を有していること。
- エ 持続可能な地域づくりに向け、地域の関係者と農山村地域が抱える諸課題の解決などについて真摯に議論を交わすことができること。
- オ 農業に関連する他分野の知識を融合又は展開することにより、農業を起点とした新たな事業展開を図るために必要な柔軟な発想力や応用力を身に付けていること。
- カ 修得した知識と技術を駆使して農業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現し、課題の解決策を提案できる能力を有していること。

2 森林業経営学科

- ア 東北・山形の地域性について理解するとともに、専門分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力及び様々な文化や考え方を理解する能力を有していること。
- イ 森林資源の生産管理に関する知識や技術を有していること。
- ウ 我が国はもとより、森林業に関連する世界の情勢を見据えて森林業を実践していく基礎を修得し、その上に、森林業の経営管理に関する知識や技術を有していること。
- エ 持続可能な地域づくりに向け、地域の関係者と農山村地域が抱える諸課題の解決などについて真摯に議論を交わすことができること。
- オ 森林に関連する他分野の知識を融合又は展開することにより、森林を起点とした新たな森林業の事業展開を図るために必要な柔軟な発想力や応用力を身に付けていること。
- カ 修得した知識と技術を駆使して森林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現し、課題の解決策を提案できる能力を有していること。

教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

1 農業経営学科

- ア 東北・山形の地域性と一般的な教養に加えて、英語力を含むコミュニケーション能力及び様々な文化や考え方を理解する能力を養成するための教育を実施します。
- イ 農業の生産管理に関して、理論に裏付けられた知識や技術を基本とし、実際の農業経営に活用するために必要な実践的な能力を養成するための教育を実施します。
- ウ 農業の経営管理に関する基本的な知識及び国際的な農業政策や農業事情などの知識を修得するとともに、実践的な経営管理の手法を身に付け、社会の変化に応じて農業経営を発展させるために必要な能力を養成するための教育を実施します。
- エ 持続可能な地域づくりに向け、地域の農業事情や農山村の活性化手法等の知識を活用して諸課題を抽出し、関係者と真摯に議論を交わすことができる能力を養成するための教育を実施します。
- オ 農業に関連する他分野の知識を学修し、農業にその知識を融合又は展開することで農業を起点とした新たな事業展開につなげるために必要な柔軟な発想力や応用力を身に付けるための教育を実施します。
- カ 基礎科目、職業専門科目及び展開科目の学修内容を総合して、臨地実務実習先等の農業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理し、理論的にまとめ上げ、その結果を表現し、課題の解決策を提案できる能力を養成するための教育を実施します。
- キ 学修成果の評価は、学生の基礎的・基本的な知識に加え、技能習熟度や主体的に学習に取り組む態度、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について、試験、グループワーク、発表、レポート等の組合せにより総合的に判断して行います。

2 森林業経営学科

- ア 東北・山形の地域性と一般的な教養に加えて、英語力を含むコミュニケーション能力及び様々な文化や考え方を理解する能力を養成するための教育を実施します。
- イ 森林資源の生産管理に関して、理論に裏付けられた知識や技術を基本とし、実際の森林業経営に活用するために必要な実践的な能力を養成するための教育を実施します。
- ウ 森林業の経営管理に関する基本的な知識及び国際的な森林業政策や森林業事情などの知識を修得するとともに、実践的な経営管理の手法を身に付け、社会の変化に応じて森林業経営を発展させるために必要な能力を養成するための教育を実施します。
- エ 持続可能な地域づくりに向け、地域の森林業事情や農山村の活性化手法等の知識を活用して諸課題を抽出し、関係者と真摯に議論を交わすことができる能力を養成するための教育を実施します。
- オ 森林に関連する他分野の知識を学修し、その知識を融合又は展開することで森林を起点とした新たな森林業の事業展開につなげるために必要な柔軟な発想力や応用力を身に付けるための教育を実施します。
- カ 基礎科目、職業専門科目及び展開科目の学修内容を総合して、臨地実務実習先等の森林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理し、理論的にまとめ上げ、その結果を表現し、課題の解決策を提案できる能力を養成するための教育を実施します。
- キ 学修成果の評価は、学生の基礎的・基本的な知識に加え、技能習熟度や主体的に学習に取り組む態度、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について、試験、グループワーク、発表、レポート等の組合せにより総合的に判断して行います。

就職支援情報

就農・就業等に向け、学内に「キャリアサポート・研修センター」を設置し、関係機関等と連携して強力にサポートします。

- 在学中の支援
- 学生のキャリア形成支援として、1年次から4年次まで体系的に農林業分野のキャリア教育講座を開講します。講座では、本学の教育課程の学修段階に応じ、山形県内外の農林業経営者を招いてのキャリアセミナーを開催するなど、本学卒業後の農林業分野への就農・就業に向けた職業意識の醸成や社会人としての責任及び自覚を促すプログラムを設けます。
- 就農・就業に向けた支援
- 山形県において農林業への就農・就業支援を担っている公的機関と連携し、常時学生からの相談に応じ、卒業後のスムーズな就農・就業に向けた支援を行います。また、山形県内では、「就農応援宣言・積極採用宣言」を行うなど、農林業界、行政、地域が連携し、学生の就農・就業をサポートします。
- 卒業後の支援
- 卒業生がさらにキャリアアップするための、卒業後の段階に応じた農林業経営者向け研修プログラムの実施や、職員による卒業生の定期訪問活動など、県の農林業の普及指導員による技術等の普及・指導等により卒業後も継続的にサポートします。